

注目ポイント！

「親切と文化」をまちづくりのキーワードに国際観光リゾートの創造へ。
古い温泉場からのイメージ転換により宿泊人員を維持。
熱海国際経済交流会を中心に積極的に外国人観光客を誘致。



外国人宿泊客数が約13,000人から約31,000人に！
(平成14年) (平成16年)



日本初の砂浜ライトアップ「アタミサンビーチ」

コラム

熱海市では「主人公は市民」との理念と「親切と文化」のまちづくりをキーワードに熱海に関わる旅館・商店経営者等観光関係者、学識経験者、行政関係者等の若手で構成する将来の熱海の観光を考えるための勉強会「熱海観光未来プロジェクト」を立ち上げ、地域における観光の現状を分析し、独自性を持った熱海の将来ビジョンの策定と事業展開を目指している。

これまでの経緯

- | | |
|--------------|--|
| 平成 2年(1990) | 熱海サンビーチ完成。 |
| 平成 10年(1998) | 湯めまちをどり「華の舞」公演を開始。 |
| 平成 11年(1999) | NPOエイミックの前身である「熱海メディカルインターネットクラブ」を立ち上げる。 |
| 平成 12年(2000) | 起雲閣を取得し、文化施設として整備、一般公開を開始する。 |
| 平成 13年(2001) | NPOエイミックを設立する。 |
| 平成 16年(2004) | 熱海サンビーチで日本初となる砂浜ライトアップを開始する。
「2010年花の都熱海」実現に向けたキックオフイベント「熱海花の博覧会」開催。
「起雲閣」周辺の公園・街路と歴史文化の拠点を結んでそぞろ歩きする観光地づくりの事業を開始する。 |
| 平成 17年(2005) | 「アタミアートガーデンフェスティバル」開催。 |
| 平成 18年(2006) | 「熱海観光未来プロジェクト」を立ち上げる。 |

主な取り組み

歴史文化の拠点を結ぶそぞろ歩きする観光地づくり

起雲閣に訪れる観光客

旅館を廃業し、取り壊しの憂き目を見ようとしていた『起雲閣』の歴史・文化を残すため、住民発意により買収し、文化拠点として整備。

起雲閣を中心に周辺の公園・街路を統一感のある空間として総合的に整備し、歩いて楽しめるまちのネットワークづくりを進めている。



温泉と温シェルジェ

健康に対する温泉利用

「医療から熱海の活性化を」「熱海市の医療のネット化」などを目的に、熱海の医師と様々な業種の人々が協力しあいNPO法人エイミックとして、温泉、健康、街づくり等をテーマに活動。

健康と温泉による新しい熱海の魅力の創造につなげるため、温泉について広く案内する人「温シェルジェ」も養成。

アタミアートガーデンフェスティバル

春の入込客数減少に対して民間の美術館、自然公園と公共の文化施設が連携することにより年間を通して安定した観光客の確保。「花」「芸術」「庭園」をテーマに『アートガーデン』という新しいコンセプトにより事業展開。

アカオハーブ&ローズガーデン



湯めまちをどり「華の舞」

住民グループによる「見番・芸者を核とした観光活性化方策」を受け実現。平成10年より毎週土日に芸妓見番を開放し、観光客にプロの踊りを披露。現在は、日本の伝統文化をPRするため、在日外国人を対象とした出張公演や、海外公演も実施。

湯めまちをどり「華の舞」



問い合わせ先

熱海市観光文化部観光商工課

Tel : 0557 - 86 - 6192 <http://www.city.atami.shizuoka.jp>

熱海市観光協会

Tel : 0557 - 85 - 2222 <http://www.ataminews.gr.jp/index.html>